

保健師助産師看護師法の抜粋

保健師助産師看護師法(昭和 23 年 7 月 30 日 法律第 203 号)

<資格の定義>

[保健師]

第二条 この法律において「保健師」とは、厚生労働省の免許を受けて、保健師の名称を用いて、保健指導に従事することを業とする者をいう。

[助産師]

第三条 この法律において「助産師」とは、厚生労働省の免許を受けて、助産又は妊婦、じよく婦若しくは新生児の保健指導を行うことを業とする女子をいう。

[看護師]

第五条 この法律において、「看護師」とは、厚生労働省の免許を受けて、傷病者若しくはじよく婦に対する療養上の世話又は診療の補助を行うことを業とする者をいう。

[准看護師]

第六条 この法律において、「准看護師」とは、都道府県知事の免許を受けて、医師、歯科医師又は看護師の指示を受けて前条に規定することを行うことを業とする者をいう。

<免許>

[保健師、助産師、看護師]

第七条 保健師になろうとする者は、保健師国家試験及び看護師国家試験に合格し、厚生労働大臣の免許を受けなければならない。

二 助産師になろうとする者は、助産師国家試験及び看護師国家試験に合格し、厚生労働大臣の免許を受けなければならない。

三 看護師になろうとする者は、看護師国家試験に合格し、厚生労働大臣の免許を受けなければならない。

[准看護師]

第八条 准看護師になろうとする者は、准看護師試験に合格し、都道府県知事の免許を受けなければならない。

<国家試験>

[試験の内容]

第十七条 保健師国家試験、助産師国家試験、看護師国家試験又は准看護師試験は、それぞれ保健師、助産師、看護師又は准看護師として必要な知識及び技能について、これを行う。

[試験の実施]

第十八条 保健師国家試験、助産師国家試験及び看護師国家試験は、厚生労働大臣が、准看護師試験は、都道府県知事が、厚生労働大臣の定める基準に従い、毎年少なくとも一回これを行う。

<受験資格>

[保健師国家試験の受験資格]

第十九条 保健師国家試験は、次の各号のいずれかに該当するものでなければ、これを受けることができない。

- 一 文部科学省・厚生労働省令で定める基準に適合するものとして、厚生労働大臣の指定した学校において六月以上保健師になるのに必要な学科を修めた者
- 二 文部科学省・厚生労働省令で定める基準に適合するものとして、厚生労働大臣の指定した保健師養成所を卒業した者
- 三 外国の第二条に規定する業務に関する学校若しくは養成所を卒業し、又は外国において保健師免許に相当する免許を受けた者で、厚生労働大臣が前二号に掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認めたもの

[助産師国家試験の受験資格]

第二十条 助産師国家試験は、次の各号のいずれかに該当するものでなければ、これを受けることができない。

- 一 文部科学省・厚生労働省令で定める基準に適合するものとして、厚生労働大臣の指定した学校において六月以上助産師になるのに必要な学科を修めた者
- 二 文部科学省・厚生労働省令で定める基準に適合するものとして、厚生労働大臣の指定した助産師養成所を卒業した者
- 三 外国の第三条に規定する業務に関する学校若しくは養成所を卒業し、又は外国において助産師免許に相当する免許を受けた者で、厚生労働大臣が前二号に掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認めたもの

[看護師国家試験の受験資格]

第二十一条 看護師国家試験は、次の各号のいずれかに該当する者でなければ、これを受けることができない。

- 一 文部科学省・厚生労働省令で定める基準に適合するものとして、厚生労働大臣の指定した学校において三年以上看護師になるのに必要な学科を修めた者
- 二 文部科学省・厚生労働省令で定める基準に適合するものとして、厚生労働大臣の指定した看護師養成所を卒業した者
- 三 免許を得た後三年以上業務に従事している准看護師で前二号に規定する学校又は養成所において二年以上修業したもの
- 四 外国の第五条に規定する業務に関する学校若しくは養成所を卒業し、又は外国において看護師免許に相当する免許を受けた者で、厚生労働大臣が第一号又は第二号に掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認めたもの

[准看護師試験の受験資格]

第二十二条 准看護師試験は、次の各号のいずれかに該当する者でなければ、これを受けることができない。

- 一 文部科学省・厚生労働省令で定める基準に適合するものとして、文部科学大臣の指定した学校において二年の看護に関する学科を修めた者
- 二 文部科学省・厚生労働省令で定める基準に従い、都道府県知事の指定した准看護師養成所を卒業した者
- 三 前条第一号、第二号又は第四号に該当する者
- 四 外国の第五条に規定する業務に関する学校若しくは養成所を卒業し、又は外国において看護師免許に相当する免許を受けた者のうち、前四号に該当しないもので厚生労働大臣の定める基準に従い、都道府県知事が適当と認めたもの